

千葉大学病院にて妊孕性温存療法を受けられた患者の皆様 へ

2023年10月3日

婦人科

婦人科では、がんサバイバーに対する妊孕性温存療法の治療成績に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013年1月1日～2023年7月31日の間に当科でがんサバイバーに対する妊孕性温存療法を受けられた方

1. 研究課題名

「当科におけるがんサバイバーに対する妊孕性温存療法の検討」

2. 研究期間

2023年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

がんサバイバーに対する妊孕性温存療法には卵子凍結、胚凍結、卵巣組織凍結があります。当科では2013年からこれらの治療法のうち、卵子凍結、胚凍結を行ってきました。この研究は、悪性腫瘍の診断を受けてから当科で妊孕性温存療法のカウンセリングがなされ、その後妊孕性温存療法を行なった方の治療経過を解析し、今後の治療に役立てることを目的とします。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

当科で妊孕性温存療法を受けた患者様の診療記録より、以下の情報を調べて、研究に用います。

患者年齢、妊娠分娩歴、原疾患、原疾患に対する治療歴、紹介元の診療科、結婚歴、パ

一トナーの有無、治療開始前抗ミュラー管ホルモン（AMH）値、卵巣刺激方法、卵巣刺激ホルモン（FSH）注射剤の総投与量、妊孕性温存療法の種類、凍結卵子数、凍結胚数、採卵時合併症、胚移植日、妊娠帰結、原疾患再発の有無

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者（研究代表者）：婦人科・周産期母性科 教授 甲賀かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学研究院生殖医学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院婦人科 教授 甲賀かをり

043(222)7171 内線6894